京城日日新聞

社説

時局對應策
不逞鮮人には極力壓迫主義を取れ

原內閣の朝鮮政策は內地延長主義なりき、齋藤總督の統治方針は文化政策卽溫情主義なり、然るに此內地延長政策も文化主義溫情主義も鮮人を悦服せしむるに足らず、時局は益々惡化し、人心は益々離反し、益々朝鮮統治難を感ぜしむるとせば、內地延長主義と文化主義は決して朝鮮統治の最善の政策にあらざることを立證して餘りあり、然らば今日直に此政策を一變して寺內時代の武斷壓迫政策に逆戻りすれば可なるかと云ふに、吾人が屢ゝ聲明せる如く決して然すべしと云はず世人動もすれば時局惡化を觀て是れ文化政策の朝鮮統治に適せざる所以を立證せるもの卽ち之を一變して寺內時代の武斷壓迫主義を取り、秋霜烈日の態度を以て之に臨むべしと是れ時局收拾策として最上の策なりと論ずるものなり、是れ俗論にして吾人は之に與みする能はず、文化主義溫情主義、民權と民論の尊重主義は政治の根本方針にして政道の根本精神ならざるべからず、武斷專制壓迫主義は專制政治にして最も嫌惡なり、暴政とも言ひ得るなり、而も武斷專制も程と分量に依りては良藥と變ずることあり、武斷專制壓迫主義も時と場合に依り適度に應用すれば、却つて善政となることあり、一概に排斥すべからず、朝鮮人は由來千餘年間恐らく民族史初まりて以來專制壓迫主義の政治の下に虐げられ來りたるものなり[illegible]之を直に解放して文化政策と自由主義の政治の下に置くは却つて驕慢を生じて放縱に流れ節度を失する觀念無きにあらず、恰かも久しく檻の中に拘束され居りし野獸は一旦解放され自由の野に放たるれば欣然踴躍如何にも愉快の狀あるも野獸性を自由に發揮して野を荒し人畜を害する觀念あると同一なり朝鮮人は獰猛性に富めるにあらず、其性情は寧ろ陰柔なり、然も本質に於て面從腹背的性情を有し、敢然として反抗せざるも、亦決して衷心より心服する民族にあらず、治め易きが如くして決して治め易き民族にあらず、且つ由來久しき惡政に虐げられ、其性情頗る執拗にして陰險暗愚なり、又頑迷と識見無し、殊に鮮人の民族的反感と獨立要求の感情は恐らく永久に彼等の腦底に燃ゆる熾火なるべし、斯の如き民族に對して直に內地式の文化政策と自由主義を以てするは[illegible]、政治の妙諦を得たるものとは言ひ得られざるなり、大體は文化政策と自由主義を取るも、時に武斷專制の威力を適度に應用することを忘るべからず殊に不逞鮮人に對しては飽迄武斷壓迫主義と秋霜烈日の態度を以て彼等に臨み彼等を根絕せずんば止まざるの決心と覺悟とを以て彼等を追及し壓迫し討滅するの大方針を取らざるべからず警察當局を始め其筋係も稍此に氣付き、近來頗る宜しきを得たる[illegible]を振はん方針に見受けらるゝも、尙最初聲明したる文化主義溫情主義に囚はれ、動もすれば優柔不斷に流れて威力を缺ぎ、不逞漢をして益々跋扈せしめ、民心益々惡化の形勢あり、斯の如きは實に統治者の無能と怯懦を表示するものにして、總督府の威信に關するのみならず、實に帝國の威嚴に關し、延いて朝鮮統治の將來を益々困難に陷らしむるものなり、總督初め其僚屬たるもの大に緊褌一番、不逞漢の心膽を寒からしむる決策を斷行せざるべからず、是れ時代の要求なり、特に切言す。

戰後の歐米
(十二)
木村雄次

英米爲替の下落については人爲的調節策の到底維持し難きを說き寧ろ自然の儘に放任せば恰も輸入稅を課するが如く自然に輸入額は減少して爲替は結局不調に歸すべしと言明致し候此の新說は爲替市場に卽ち影響を及ぼし他の經濟事情と相俟ちて八月二十一日に於ては四弗十一仙に下落し爾後多少恢復の兆を示したるも目今猶は四弗十五六仙の間を往來いたし居候然れ共歐洲大陸との貿易助長のためには二千三百萬磅のクレヂットを設くる旨言明致し居候へば要するに對米爲替は自然に放任し對歐爲替は下落政策を採らんとするものらしく何事に就ても英國は先づ歐洲の主たる地位を維持せんとするものらしく候此際一層附加べきは銀貨暴騰の一事に候が小生がモンターグ等の銀商を訪問して意見を求めし時は五十一、二片の頃にて支那の需要あり尙米國の銀產額は減少の傾向にあれば依然として先高見越なりしと申居候ひしが果然六十一片の高價を見るに至り早く既に補助貨改鑄の聲さへ之有候序ながら英國の此際露西亞に對する方策として露を英國銀行に預託せばアーカンゲルにてルーブルを受け得たる制度は九月一日より廢止と相成り申候

貿易政策に就いては所謂キー、インダストリールに屬するもの外は輸入制限を九月一日より解除して物價の下落を圖るべく若し獨逸がダンピングを企てるに於ては適當の關稅をとるべしと聲明致し候が此の政策の如く九月一日より輸入制限は正に解除せられ候へども其の實[illegible]を下すべからず但し新聞紙には獨逸製玩具が潮の如く押し寄せ來り英國玩具製造業者の委員が商務院總裁に陳情の爲め出頭したりなどの記事も有之候へども政府は未だ大體の方針を變更するに至り不申候日本製品も稍社會の注目を引きつゝあるもの如く安價なる日本雜貨は種々のデスガイズの下に英國市場に侵入しつゝあるを以て警戒すべしなど傳へられ候猶英帝國內の貿易政策に就いては英本國の內閣各植民地內閣及植民の實業家より成る委員會を組織して問題決定の準備をなすべしと申し居りしが勞働組合大會は保護貿易及英帝國互惠關稅には全然反對なる旨の決議を致し居り候英本國の勞働者は凡そ七百萬人最も家族多き社會なれば一家五人と計算すれば五、七、三千五百萬と相成る都合なれば英國人口の過半を占むと云ふべく勞働者の言議決して輕視すべからずと存じ候

英國政府現今の歲出入一日の平均について見るに支出四百四十四萬磅收入二百三十三萬五千磅にて支出は收入の倍額に達する狀態に有之候へば民間にて政費節減を喧しく論じ立つるも無理ならぬ事には候が固より政費の大部分は軍費に候へども首相は平和條約調印と同時に解除すべからざる事情を縷ゝ陳述する所あり軍需省の巨費を用ふるについても同省の過去の功績を述べ漸次整理の計畫を實行すべしと云ひ且述べて曰く既に陸海軍其他公務に服せしものゝ解除は三百六十萬人に達し其中職を得ざるものは僅に三萬五千人に過ぎずデモビリゼーションの進行も決して遲緩なるにあらず但し若し國際聯盟をして眞實の效果あらしめんとならば之が最大の主張者は須らく先づ軍備を縮少すべし英國は此の點については決して人後に落つるものにあらず常に其の用意ありと云ひ遂に米國の態度を云々するが如くに歸結致し候

其後首相は政費の節減は民間の輿論にして其主張の正當なるを是認し九月中旬迄行政整理の計畫を立て自己の手元に提出すべき旨各大臣に私信を發し候處此の手紙は如何致しけむデーリ、メールの手に入り同紙は鬼の首でも取りたる樣に之れを世間に發表仕り候が行政整理は蓋し最も重要なると共に又最も難事業たるは爭ひ難く整理の結果當任經費に不足なるに於ては又々增稅の外なかるべく之れ實に戰後經營の衝に當る現內閣の最も苦痛とする所ならんと被存候

旅行中の時局の進展に就き小生の感じ得たる處は大體右に止まり申候倫敦はホテルの喫煙室は汽車の中にて新聞紙を發見して得たる[illegible]の報導に有之[illegible]へども何等かの御參考とも相成り候はゞ寧ろ之に過ぎずと存じ候[illegible]

[illegible]九月に亘り氷を呼び湯を動かし日々苦熱を呼ぶべき時候にも拘らず幸ひ涼しく暑熱を知らずゲラスメーア湖畔に於ては却つて爐火に親しむが如き[illegible]にて御座を以て小生始め一行悉く健康罷りながら御安神被下度候　敬具

疑問の年度豫算(一)

來年度一般會計豫算は目下大藏省主計局に於て査定中に屬し隨つて未だ詳細を知るに由なきも政府當局は十年度豫算編成に當り從來の如き消極的緊縮方針にあらずして寧ろ已むを得ざるに出でたる眞の緊縮方針に基く事となり一面に於て從來の方針を一變すると共に他面に於て行政整理的精神に依りて豫算を編成する事に決し居れり元來現內閣は何れの內閣も爲し來りし(一)國防充實(二)交通々信機關の整備(三)教育の振興(四)產業の獎勵を麗々しく四大政綱なりと標榜して八九兩年度に亘り放漫なる財政々策を以てしたるが故に歲計は著しく膨脹し遂に九年度に及びては十三億三千五百萬圓に達し開戰當時なる大正三年度の歲出六億四千八百萬圓に比し全く隔世の感あらしめたり而も現內閣當局は九年度を以て右四大政綱を夫々其緖に就かしむるに至りたりと稱れども如何せん既定繼續費は年を逐ふて益增大せんとするものある上本年初頭より來りし財界の不況は漸次濃厚を加へ來れるも一般的に物價は不景氣に比例して下落せず

創作

熱光の下を
(十五)
曉谷

私は今、宮崎行きのボギイ車の中で其の當時のことを追想してゐるのだ。窓外の陽光に包まれた田園の自然がパノラマの如き車窓を掠めて行くやうに、瞼で閉ち込められた樣な私の心にも夫から夫へと想出が湧いて來る。

私達の結婚は斯うした具合に波立ちの多いものだつた。[illegible]な湖の面にぽちやりと立つた漣波が、次第に大きく波紋の輪を擴げて行くのと同樣に、二人の間に起つた最初の小さな紛擾は段々周圍の人達に及んで行くのが道理だつた。

運命とは斯うしたものだ。自分と言ふ小さな獨楽が、自然他のものに波及して行つて次々に事件を拵えて行く。

私達の結婚後二ヶ月位の間に起つた些細な紛擾も、[illegible]

私は夫を見ると、急に寂しい氣がし出した。銀色の眞珠の珠を入れたのと一緒に、お前の指に始終並んでゐた指輪だ。

何でも師走の雪の夜だつた。お前の弟達のシャツが、小一里もある町外れの仕立屋に頼んであつたのを受取りに行つた晩だつた。

夕方から、いやに底冷がしてゐたが、餘り永く引き延ばしてゐたことではあるし、段々思ひ切つて泥濘の路を出掛けた。

挾めるやうな寒さが、襟や裾から浸み込んで、氣味の惡い程ねちやくした小一里の道を步くのは辛かつた。

お城跡の處まで來ると粉雪を含んだ横殴りの風が、傘を吹き飛ばす如な勢ひで吹きつけて、見る間に雪が積もり出した。仕立屋は容易に判らなかつたが、夫れでもやつと訪ね當て受取つて外へ出た。

斯うした晩の歸りがけだつた。何日も通る時計店の前まで來ると雪に晒された街並は、目拔きの場所にも似合はぬ程、ひつそりと靜まり返つてゐた。

未だ店を開けてゐる家からは硝子戶やショウ、ウヰンドウから洩れる電光が、眩しい程に道の雪に反映してゐる。

「買はうぢやないか。」

私は指輪を一杯並べた裝飾窓を覗き込み乍ら斯う言つてお前の顏を見返した。

「えゝ。買つて欲しいンですけどもう直ぐお正月でせう。そうすりや、お金も案外要るぢやありませんか」お前は煮え切らない返事をして乍ら矢張り指輪の方を見詰めてゐた。

「いゝぢやないか。買つたら好いぢやないか。」

私が自分一人で決め乍ら、傘をすぼめると、お前も露でこつそり厚ぼたくなつた傘を細めて跟いて來た。

「君。あの指輪を……」

見知り越しの番頭に言つて、金の眞珠を入つ計り並べた細打ちの指輪を出させた。二三度迷つたが結局最初のに決めて戶外へ出た。

一丁計り來ると、指輪が拔けないからと言つて立留つて

「拔いて下さいな。指が痛くつて仕方がありませんから」

「どら。拔けないことがあるものか。馬鹿な。」

私は叱るやうに、咎めるやうに言ひ乍ら、[illegible]拔かうとしても駄目だ。お前は段々泣き出しさうになつて來たが、果ては癇癪を起して了つた。

「腹が立つワ。眞實に。貴、もう要らない。要らない。」

指が赤く腫れてゐた。提灯屋の檐に立ち止つた二人はこんなことで暫くの間言ひ爭つてゐたが、結局私の方が本當に怒り出してサッサと先に歸り出して了つた。

内外電報

露波講和會議破裂

[illegible]講和會議は破裂したりと[illegible]

遂に罷業勃發せん
坑夫側の態度頑強

[illegible]解決案を拒絶し[illegible]を是認した[illegible]二十二日を[illegible]勞働者側は[illegible]開き勞働者側[illegible]三角同盟[illegible]するに決せ[illegible]勃發避け難く[illegible]長スマイルス氏[illegible](紐育來電)

暗憺たる日米問題
飽迄解決に努力せん 澁澤子爵談

[illegible]法律に[illegible]決心を固めて[illegible]の決心を固めて[illegible]三十名を以て組織[illegible]八月二十三日京[illegible]七月中[illegible]に努力して[illegible]事態容易ならず[illegible]とは知らして來なかつた

一般投票勿論通過
加州排日決議案運命

[illegible]インマン氏が提出に係る[illegible]日米紳士協約を破[illegible]することと日本人移[illegible]亞細亞人は永久市[illegible]を制定すること等[illegible]排日一般投票の[illegible]を容れず(桑港來電)

擧國一致排日鼓吹

[illegible]月の大統領選擧終了後に[illegible]排斥手段を講ず[illegible](紐育來電)

日米交渉經過發表

政府は近く日米交渉經過を發表すべしと

敢然立つて宣傳せよ
日米問題は根本解決を要す
大隈侯爵談……

[illegible]を見つゝある模樣なるが[illegible]し政府は之が解決策とし[illegible]したそうだが之を以て對米[illegible]り日米の外交は[illegible]て居る隨つて何とか對策[illegible]議會を設くることも不可と[illegible]する對策として兩國高等委[illegible]道の外交談判を以て主義[illegible]や驚くべき[illegible]決は公正なる理[illegible]兩者の意志を疎[illegible]を圖ることは最も[illegible]委員會を設くることは甚[illegible]ることは單に手段に止まる

全然行詰り

[illegible]

大々的手段

を講じなければならぬ米國の主張は元來其の宣傳出發點に於て大なる誤解に陷り非文明非人道の甚しきものである隨つて其の結論は我國政府に不利を釀さんとするものであつて之帝國の消長に關するは勿論帝國の興廢に關する大なるものがある故に吾人は之を世界に主張して帝國の正當なる權利を發表しなければならぬ區々たる論議折衝の力を以て此の大問題を解決せんと思ふのは間違つて居る米國主張の不當なることは一時的でなく永續的に世界に向つて宣傳しなければならぬ世界の輿論は公平である米國の非人道なる言論は之に依つて

反省の時機

があるだらうと思ふ唯日本人は言論文章の宣傳は拙劣である我輩は五十萬や百萬圓の費用は投じても大々的に宣傳の必要がある又其效果も現れると思ふ英米兩國の間に紛議の高等委員會は外交行詰りの結果之れが設置を以て解決したもので我對米關係の危機を緩和せんとの高等委員會は一時的の手段として必要であるが根本解決策としては世界的宣傳が必要である國民共存の意義を明かにし危機に瀕したる場合國民は敢然たる意氣を示さなければならぬ苟も國民として國家の存立を危ふくする場合には大に起たねばならぬ云々(東京來電)

赤化宣傳奏効乎

[illegible]に於ける[illegible]赤化宣傳[illegible]勢力を[illegible]せるやに傳へらる(倫敦來電)

過激派軍士氣挫む

ウランゲル將軍はアレキサンドルフスク及ダンロツパ地方に於て急速に進軍しつゝあり過激派軍の士氣は頗る沮喪し陸續として降伏しつゝあり(セバストポール來電)

ウ政權代表要求

[illegible]極東統一問題は最後の會議に於てウイルフネ政權代表者はバロンウランゲルの攻勢的態度及ゼミョノフの態度の不鮮明に抗議し[illegible]退に努力を[illegible]すべき旨聲明せるが[illegible]代表者は未だ考慮中なり(哈爾賓來電)

兩將會見の効果

滿洲里驛にてセミョノフ將軍はニキエロフと會見せるが其の意見交換は形勢を一變さるに力あるべしと多大の興味を惹き居れり(哈爾賓來電)

湖南事件再抗議

湖南事件に關する北京政府の回答小幡公使に送附し來りしも其内容頗る不親切を極めし爲め同公使は更に再抗議を提出すべし(東京來電)

獨逸藏相辭職

獨逸首相フルート氏は辭表を提出せり此の辭職理由とせる所は獨逸現下の財政狀態は多端にして一氣に可成的改革を要求し居れるも獨逸の政治上並に經濟上の諸事情と相俟つて氏の財政的經綸を實行するを得ずといふにありフエレンバツハ内閣は之が爲め危機を招來するに至れり(紐育來電)

永田町首相官邸に於て閣議原首相以下各大臣(床次内相を除く)出席内田外相より外交經過の報告あり次で重要政務を協議し尚左の事項を決定の上正午午餐を倶にし午後一時散會(東京來電)

(一)朝鮮總督府醫院官制中改正の件
(二)人事(文部省朝鮮總督府所管)

露使待遇取消

支那政府は二十三日總統令を以て露國公使及領事の待遇停止を布告したり(北京來電)

露國租界沒收

漢口に於ける交渉使は露國租界を沒收するの處置を執るべき旨北京政府より訓電を受けたり之露國租界に居住する外國人に重大なる關係を有す支那政界は[illegible]今日治外法權撤廢止問題は頗る重大なりと觀測せられつゝあり(漢口來電)

禁酒効果研究

英國大使ゲデス氏は國際禁酒會に於て演說して曰く英國政府は禁酒の效果を研究せんが爲め米國政府の報告を求むと語り(華盛頓來電)

定例閣議開催

定例閣議は二十四日午前十時より

元老天機奉伺

大隈松方西園寺三元老は昨二十四日參内天機を奉伺せり(東京來電)

大木法相訓示

大木法相は二十五日内務省にて地方長官に對し司法上の訓示をなす筈にて同日午後一時より赤池警務局長は内鮮關係警察上の案件朝鮮の現狀並に不逞鮮人と内地の關係其取締上に關する必要の講話をなす由(東京來電)

加藤公使免官

露國オムスク政府の特命全權公使に派遣せられし加藤恒忠氏は任務終り目下歸朝し居れるが本日左の如く辭令ありたり(東京來電)

特命全權公使 加藤恒忠 任務終了に付き本職を免す

井上博士滿鐵入社

帝大工科大學教授工學博士井上匡四郎氏は今回滿鐵に入社すべく辭表を提出中の處二十四日の定例閣議[illegible]

滿鐵入は誤傳

[illegible]にて休職に決定したれば一兩日中に[illegible](滿洲來電)

二十四日の閣議に於て井上匡四郎氏休職となりたるに付き滿鐵理事として入社すべく傳ふるものあれども右は誤傳にして同氏は昨年一月撫順炭礦栗山製鐵所長として滿鐵の囑託を受け同地に在りしものなるが大學講師の都合上今回休職となれるものにして滿鐵に入社する譯には非ず(東京來電)

日曜學校大會

十月五日より十日間東京に開催さるゝ世界日曜學校大會には支那朝鮮の代表者は出席せずとの風說ありしが支那側は井深梶之助氏奔走し朝鮮側は在京城米國宣教師スインハート氏奔走の結果六十名の出席を見るに至れり(東京來電)

清津府尹辭任

清津府尹吉田裕之進氏は二十一日附依願免官となりたるが後任者は[illegible]

イ市附近狀況

九月上旬に入りてよりイルクック市を出發せる旅行者某の談に曰くイルクック市附近は食料品の缺乏今や其極に達し該地方官憲は食料品の賣買を禁止し住民の窮迫憫れむべきものあり同市附近に駐屯せし露西地方師團の一部は八月下旬より西方に輸送せられたりと

西伯利俘虜解放

各國聯合軍にて管理以來九月八日迄に解放し各本國政府に引渡した俘虜左の如し

獨逸國俘虜	六九三名
墺洪國俘虜	一二、〇一一名
土耳古俘虜	二七名

尚目下日本軍の管理に屬する在西伯俘虜人員左の如し

洪國俘虜	一、三六八名
土耳古俘虜	八二〇名
其他	二三四名
計	二、四二二名

鮮滿通貨膨脹

[illegible]中旬九千三百萬圓臺に激增したる朝鮮銀行券の發行高はその後漸增し二十四日は九千六百萬圓臺に伸びたるがこは月末資金の需要期に於ける資金の需要にして[illegible]資金の關係にあらずと

仁川八年決算

仁川府大正八年度歳入出決算左の如く發表せられたり

歳入

金九萬千四百二十三圓八十四錢 經常部決算額
金八萬九千四百二十三圓 同 豫算額
金一萬七千五百九圓八十五錢 臨時部決算額
金一萬八千六十九圓 同 豫算額
決算額合計十萬八千九百三十二圓
豫算額合計十萬七千四百九十二圓

歳出

金六萬千八百八十三圓五十七錢 經常部決算額
金六萬五千七百八十一圓 同 豫算額
金四萬二千四百七十五圓八十三錢 臨時部決算額
金四萬千七百十一圓 同 豫算額
決算額合計十萬四千三百五十九圓四十錢

[illegible](仁川)

李堈公家漁場貸附に就て
西村殖產局長談

李堈公家の鑛海漁場漁塩は本年五月其の更新免許に際し香椎氏より其の内四十四ヶ所を公家に返還することになつた該漁場を公家より更に他人に貸付せらるゝことは固より差支ないけれども之が貸付の方法に就ては本府に於ても相當の希望がないでもない外來香椎氏が該漁場を他人に轉貸した時代に於ては其の期限を一ヶ年とし總て之を競爭入札に付して居たのであるが元來漁業は年に依つて豊凶少くないものであるから一年の短期間であつては偶々其の年が不漁でもあると漁業者は忽ち大なる困難に陷ることになつて一向漁利の判斷が出來ぬ殊に競爭入札になると自然貸付料の高い者に落札することになるので人物の選定上甚だ遺憾を免れないことも往々ある今後李堈公家より貸付を爲す場合に於ては

一 公家より地元民又は緣故者等に對して直接に其の權利を貸付し其中間に第三者を介在せしめざること
二 受貸付人は公家より之を指定し隨意契約を以て之を定め競爭入札に付せざること
三 貸付年限は相當之を延長し漁業の確實なる發達を圖ること
四 公家の貸付料は香椎氏の貸付料に比して幾分か之を減額し一面公家の收入を增加すると共に一面受貸付人の負擔を輕減すること
五 受貸付人の人物性行等に付十分注意すること

等は貸付を爲すに當りて十分考慮すべき問題と思はるゝので李公家の貸付に就て特に其の貸付前に於て本府に協議すべき事としたのである

▲今回李公家に於ては其處分案を定め本府に協議せられたので其處分案を見ると今回の指定借受人は地元民又は緣故者等の關係資產信用の程度經驗の多少人物性行等を參酌して周到の注意を拂ひ公平に査定したものであつて大體前記の目的に適合するものと認められるので本府に於ても早速之を承認したのである

▲地元及緣故の關係資產信用の程度、經驗の多少及人物性行等に就ては李公家は固より本府、所轄道廳、所轄警察署に於て各々愼重の調査を遂げ各方面を綜合して其結果に付仔細に研究査定したものであるが就中其人物性行等に就ては特に十分の注意を拂ひ不逞帝國臣民として忠實の義務に背かず其思想性行共に善良にして一般に信用ある者の中より選定した次第である

▲今回李公家から貸付せらるべき漁場の貸付料豫定價格を何處から聞き出してか高いとか不當だとか言つて居る人もあるそうであるが貸付料の如きは本府の强て干渉すべき事柄でもないから李公家で、適當に定められて然るべき事とは思ふが大體に於て今回の貸付料は我々に於ては格別不當のものとは思はぬ何故なれば今回の貸付料は從來香椎氏の徴收したる貸付料より約二割ばかりを減じた大體位のものもあつて香椎氏が先項轉貸した漁場の本年の貸付料の實例から云へば約六割强にしか當らないのである、一層詳しく云へば香椎氏の本年轉貸した漁場に對する貸付料は前年は四萬四千圓許りであつたが本年は五萬八千圓許りになつて居る、李堈家の今回貸付せんとする漁場の貸付料は昨年は約四萬九千圓であつたから之を香椎氏の例に照せば最近年の貸付料は約六萬二千圓を徴收せられても當然であるが李公家に於ては特に借受人の利益を圖り其三分の二即ち約四萬圓を以て貸付せんとして居られるのであつて此の三分の一强の二萬二千圓許りは其の漁業權を直接李堈公家より借受くることになつた爲に今回の借受人が新に利益する次第であるから李公家の今回の貸付料は決して不當と認むべき理由はない樣に思はれる

全鮮記者大會

全鮮記者大會は豫定の如く昨二十五日午前十時より朝鮮ホテルに於て開催され會するもの地方と京城とを合せて約四十名、本社尾崎社長幹事として開會の挨拶を爲し大會のプログラム等を報告し、加藤京城日報社長を座長に推して議事を進行す、議題の重なるものは例年の大會に持ち出されて懸案となり居れる新聞紙法改正案にして、長野木浦新報主幹之が說明の任に當り芥川釜山日報社長、牧山朝鮮新聞社長、板橋經濟新報社長、朝倉法政新聞社長及び鮮尾社長等交々意見を陳べ終りに左の改正事項を決議せり

一、新聞規則改正の件
一、名譽毀損罰の件
一、發行編輯人署名人の件
一、保證金の件
一、時價及保證金權利讓渡承繼の件

以上の事項決議し終りて食堂に入り晝餐を濟ませ、午後一時半より更に懇話會を開く、總督府より西村殖產局長、柴田學務局長、島田遞信局事務官、丸山警務局事務官等出席し先づ長野木浦新報主幹より新聞紙法改正案決議事項を說明して丸山事務官の答辯を求む、丸山事務官は自分としては大體に於て異議無し、上長官と審議の上諸君の御希望に應じたしと答ふ、其れより時局問題に入り板橋君初め岡本朝鮮新報社長等交々熱辯を振ひ、丸山事務官之に對し大に朝鮮の時局より朝鮮の將來に及び大に意見を披瀝し柴田學務局長等も一二の質問に答へ、之にて懇話會を終り、午後四時より一同は總督の官邸に招かれ自動車を連ねて官邸に赴く食堂に入りて一同に杯を擧げて主客の歡談、食堂閉ぢらるゝや、應接室にて總督と記者團との意見交換行はる、先づ長谷川平南每日新聞社長の地方鮮人の惡化を詳細に語り、其れより朝倉、板橋、大垣、芥川、鮮尾の諸氏交々時局に對する、意見や事實を語り熱誠官邸を辭去する勢あり、齋藤總督は之に對して有益なる談話を拜聽するを得たるを謝すと語り、余の意見感想も略諸君と同じ、今後諸君の力を假りて任務を盡さんとの挨拶あり、之に對して加藤京日社長より答辭を述べて薄暮官邸を去りて一同は花月に於ける總親會に臨み互に歡を盡して深更撤宴せり因に全鮮記者團は昨一日にて終り、地方記者團は各自任意の行動を執ることゝなりて解散せり

西鮮横濱航路
一兩日中に朝郵に命令

朝鮮西海岸と横濱との航路開始は鮮米東京輸送を主眼とし啓十月一日より遞信省の命令にて朝鮮郵船會社之が經營をなす事に內定一兩日中命令書來る筈

芳賀院長辭職說

芳賀總督府醫院長は廿五日朝總督府警務局に丸山事務官を訪問したるが漏れ聞く所に依れば同博士の辭意は確實にして近く辭表を提出すべしと

朝郵決算締切

朝鮮郵船會社の大正九年上半期の決算は九月末日を以て締切るべきが當期は石炭を初め諸物價の低落あり經費は多少減じたる模樣なれど財界不況旱魃疫病等のため收入の打擊あり加ふるに今期は拂込資本金の增加あるため配當據置稍危まれ居れど減配の必要はなかるべしと

全鮮商議聯合會

全鮮商業會議所聯合會は京城商業會議所會議室に於て開かるべし

人事

▲長谷川藤介氏(元鐵道院技監)廿五日朝釜山上陸同十時北行
▲上野大佐(同上)
▲森少將(同上)
▲岩崎少將(同上)
▲奥山少將(同上)
▲原田大佐(同上)
▲籾手田大佐(同上)

商況

大阪金利(廿四日現在)

	東京	大阪
コール	二、三〇	[illegible]
無條件	二、〇〇	[illegible]
翌日物	一、九〇	一、六〇
六十日物	一、八〇	一、八〇

日銀帳尻(廿二日現在)

[illegible]

鮮銀券日報(廿四日現在)

[illegible]

京株市場出來値(廿五日)

銘柄	前場	後場
京取	[illegible]	[illegible]
鮮銀	四三、五〇	三四、七〇
同新	四六、七〇	[illegible]
實銀	八、七〇	[illegible]
漢銀	三三、五〇	[illegible]
東拓	四九、五〇	[illegible]
鮮土	一二、三〇	[illegible]
朝紡	一三、九〇	[illegible]
滿手	一三、四〇	[illegible]
京電	四四、九〇	[illegible]
同新	一八、三〇	[illegible]
東亞	六、五〇	[illegible]
朝鐵	三七、一〇	[illegible]
朝郵	三六、〇〇	[illegible]
朝郵	六、八〇	[illegible]
朝紙	二八、七〇	[illegible]
同新	一九、三〇	[illegible]
滿鐵	二六、〇〇	[illegible]
出來高	一、〇九四株	四一、四一〇

東京期米特電

九月二十五日前場 / 九月二十五日後場

[illegible]

大阪期米特電

九月二十五日前場 / 九月二十五日後場

[illegible]

仁川期米特電

九月二十五日前場

[illegible]

十美人配布賞品

▼一等賞
優美額緣附半身大寫眞並に 眞象牙製紀念撥

十八金婦人用羽織紐
婦人用防水コート一着
純金製寶石入指輪
婦人用パック
大日草編製手提鞄
高麗燒花瓶
化粧袋
フートボール
牛乳消毒器
繻出婦人用萬年筆

三越吳服店 東京屋本店 橫堀貴金屬店 夏川小間物店 海市商店 富田出張店 日之丸小間物店 シノサキ文具店 熊平商店 パイン萬年筆製作所

▲二等賞
優美額緣附半身大寫眞並に 眞象牙製紀念撥

絹製パック
牛セビヤ手提鞄
極上高麗燒花瓶
美術畵額
大島紬前垂地壹掛
利休下駄一足
タオル
繻出婦人用萬年筆

アサヒ屋小間物店 高木鞄店 富田出張店 淺川額緣店 勝久商店 松島[illegible] 明治[illegible] パイン萬年筆製作所

▼三等賞
優美額緣附半身大寫眞並に眞象牙製撥

婦人用パック
表付駒下駄壹足
キリンビールタオル
美術畵額
婦人持上等煙草入
牛乳消毒器
刺繡入半襟一掛
繻出婦人用萬年筆

夏川小間物店 井上履物店 明治屋 淺川額緣店 サクラビール 熊平商店 松菊小間物店 パイン萬年筆製作所

▼四等賞
中形寫眞優美額緣共 眞象牙製紀念撥

キリンビールタオル
特製優美蛇目傘
美術置時計
婦人持上等煙草入
復音大正琴
牛乳消毒器
繻出婦人用萬年筆

明治屋 旭や商店 野田時計店 サクラビール 釘本樂器店 熊平商店 パイン萬年筆製作所

▼五等賞
中形寫眞優美額緣共 眞象牙製紀念撥

キリンビールタオル
特製優美蛇目傘
高等香水藥製九星石鹸
復音大正琴
婦人持上等煙草入
フエルト草履

明治屋 旭や商店 朝日石鹸株式會社 釘本樂器店 サクラビール ひしや履物店

▼六等賞
眞象牙製紀念撥

特製優美蛇目傘
高等香水藥製九星石鹸
復音大正琴
柱掛鏡

旭や商店 朝日石鹸株式會社 釘本樂器店 サクラビール

▼七等賞
眞象牙製紀念撥

化粧石鹸京美人
金鍔饅頭
柱掛鏡

朝日石鹸株式會社 龜屋 サクラビール

▼八等賞
眞象牙製紀念撥

九谷燒婦人用湯呑
金剛飴
柱掛鏡

石川物產商會 龜屋 サクラビール

獄中生活一年半 孫秉熙法廷に立つ
病苦に惱む老體を擔はれて 寵物朱山月を一瞥して頭を垂る 檢事は懲役三年を求刑

廿日以來引き續き目下開廷中の京城地方法院に於て豫審審理中であつた孫秉熙一派の騒擾事件公判は二十四日午後に於ける白根判官外三名の訊問を以て一先づ打ち切りとなりたるを以て二十五日午前は更に孫秉熙を召喚状を發し病中の孫を

擔荷に 乘せて法廷に運び特に布團を重ねた洋椅子に安臥せしめ齋水通譯官を洋椅子の傍に臥せしめて午前十時三十分訊問を開始した水野檢事に聯繋なる高等法院豫審終結決定書に基き辯論を求むる所あつた後裁判長の訊問に對して孫秉熙は低い聲も哀れ氣に一々答辯を行ひ大體に於て豫審決定後の事項を承認する様見る眼も痛な有様であつたが同十一時四十五分孫に對する

訊問を 一通り終つたので水野檢事は立つて簡單に孫に對する出版法及保安法違反の法條を適用して懲役三年を求刑する處があつたが大久保、許の三辯護人は交々立つて花井博士來京の來月十一日迄辯論延期を申請し裁判長は之を許して閉廷時に〇時半午後一時半再開、被告四十餘名に對する證據品取調あり午後三時を以て本件公判は一先づ打切りとなつた。

朱山月 は早朝から傍聽席にあり終始手布を眼に當て孫の一擧一動を見詰め居る様流石に物哀れの氣を法廷に漲らせた。

不穩の宣傳紙 遂に鐵槌を見舞はる
當局の注意を無視して飽迄煽動的言辭を弄した東亞日報 「偶像禮拜」を論じて無期發行停止に處せらる

二十五日發行の東亞日報は發賣頒布を禁止せられ次で無期發行停止を命ぜられたり東亞日報社は創立の當時朴泳孝侯自ら之れを統括し溫健なる主義主張の下に眞に朝鮮民族の福利を增進し文化の發展に貢獻せむことを期待せられたるが創刊幾何もならずして

過激な言説 を掲げ屡發賣禁止の處分を受くるあり朝鮮の局に當りたるものと調和せずして朴侯は社長の地位を辭退せられたり當時既に同新聞を許可したる前提條件に根本的の變革を來したるものなれども

人心を諷刺 し英國……

內容又誇張 ……

統治の根本

……

赤字名譽社員に推さる 王世子妃殿下

……日本赤十字社にては帝國會の決議に依り李王世子妃方子女王殿下を名譽社員に推し且上樂勳章を贈りて李王世子殿同妃方子女王兩殿下に有功章を授與せり（東京來電）

邦人地主迫害さる
土地も收穫も皆沒收

加州テレスノ（桑港より東南二〇八哩）附近に住せる日本人隅田氏は其の子供の名義を以て一千七百エーカーを購入しチウカ銀行及びトラスト會社に保管を依託し置きたるに加州檢事總長は……

警告す
銀行爆破を 苛馬車二臺 高速爆發物で

……郵便局長ソマーブ氏は苛馬車二臺に滿載せる高速爆發物の市中に逐る……ナショナルユニオン銀行スチーブンス、附帶金融會社等爆發さるべしと警告せる匿名の書翰を……（東京來電）

仁川港內の船火事
又會社の石油船突然火を發し 積荷諸共燒失し

目下仁川入港中の二スタンダード石油會社のケープ號は二十五日……（仁川電話）

五官同時に各樣に働く二重心理
讀み書き語り且つ思索 不思議な能力に英米人を驚倒した 邦人心理學上に凱歌を奏す

二重心理 ……

看板書き を始めたが……

最初の事 ……

其後の惡魔隊
殘黨は哈府に向ふ

……

女教員視察團
横須賀で海軍見學

朝鮮女教員團一行は昨日（二十四日）午後一時五十二分横須賀市に到着……（東京來電）

森戸氏の公判
次回は未定

……（東京來電）

倫敦紐育 ……

論落の女カチューシャお葉（九）

殆んご堪え切れぬ 色情狂の米國人
とても御話が出來ない 遉の御葉も說明し兼ねた

……

苦痛に堪 ……

其妖怪な ……

満都の花と謳はるゝ 人氣藝妓を見よ
京城四券番十美人 人氣當選者決定す 警察官券番代表者 立會ひの上公平に採點

決勝締切 當選者（十名）

三六四五〇票	新芳本	桃葉
一八三一一票	京成田家	一磨
一七一七一票	京花柳	伊達清
一三一六〇票	新仙樂	壽美香
一三六五〇票	京千登世	小萬
一三一四四票	京仲駒	朝駒
一〇三〇〇票	京いちよう	多美三
九六〇六票	京高砂	照葉
九五九六票	中新花月	一若
八六三二票	新千代の家	千代龍

次點者

七八四〇票	東〇九〇	子
五一二〇票	新千代の家	千代吉
五〇二三票	中泉家	金吾
五〇〇四票	新同	千代葉
二〇八八票	京千登世	一龍
一四一六票	京菊水	萬龍

一三一九票	京丸家	玉良
一二〇六票	京大黑	菊蝶
一一三六票	新文の家	鶴千代
一〇七〇票	京丸家	丸子

……

本社主催の觀劇會は愈今日
晝夜二回壽舘に 蝶々會一座で興行 美人連も出演しまず 御遠慮なく御出で下さい

……

狩獵列車運轉 毎日曜に限り

……

三面拔萃帳

……

運動界

▲蝶々會對三越吳服店 ……

▲京城倶樂部對蝶々會 ……

蝶々會野球戰績

……

松芳齋伯壽會

……

優勝旗と蝶々會野球部

龍山治水演說會

……

鮮人畫家展覽會 東京にて開催

……

怪しい爲替手形

……

救助網で掬上る

……

京龍人氣男投票
詳細は追而發表

四券番藝妓美人々氣投票も終了に近きました本紙は更らに新らしい催しとして京龍官民を問はず社會各方面に各階級を通じて廣く人氣ある人物を選定したいと思ひます詳細は追而發表す

▼九等賞 眞象牙製紀念撥 石川物產商會
九谷燒婦人用湯呑 金剛 婦人持上等煙草入 サクラビール部
▼十等賞 眞象牙製紀念撥 石川物產商會
九谷燒婦人用湯呑 婦人持上等煙草入 サクラビール部

菓子券十枚 本城屋
（婦人用）六本 パイン萬年筆製作所
同 小田萬年筆商店
百美人歌本二十冊 ウツボヤ書店
レターペーパー二十冊 町田新聞部
ペルミン二十瓶 和光堂京城支店
寒暖計十本 村木時計店
稽古用撥十本 米川琴三味線店
優待券五十枚 黃金館
觀劇招待券十五枚 浪花館
ざるそば券三十美人に（交樂座改め） 旭座
朝鮮名產飴三種十箱 富田商店京城出張所
右の寄贈品は各等級者に對して平均に配布致す事と決定しました

本社電話番號 編輯用三、三八番 營業用三、三一九番

小栗判官 照手姫

「八十」

旭亭桜山口演 渡舟 速記

豪傑が風呂の探検

取次が奥へ伝へると、主人が七「アヽ宜しく〳〵、確に御預り申した」と案内されて四人とも座敷へ通つて見ると、其間は十六畳、次の間は何十畳か判らぬ位、しばらくして出でたのは年輩六十にもなろうといふ、品格の良い人で、末座へ御隣に両手を支へ七「是れは〳〵御出でなさいまし、手前は富家の主人丸郎右衛門にございます、最前分家の知らせに、縁の中にて種々御世話になりましたさうで、誠に有難う存じます、貴君方の只今な御働き振りては御精神は唯々感じ入る外はありません」兵「イヤさう云はれては却て面目ないが、私は後藤兵助、是れは弟大八郎この者は池の庄司、又是れなるは太郎と云ふ者、図らずも御厄介になつて済み申さず」七「どう仕まして確に差上ぐる物もございませんが、何卒緩々御寛ぎ御逗留の程を願ひます、尚念の為め御断り申して置きますが、他に又御宿がかち合ひますと騒々しうございますから、其達は何卒御勘弁を……」兵「イヤ私共は賑やかの方を好むゆゑ決して其懸念には及ばぬ、諸国の人の話しを聞くが何よりの楽しみ、若し偶に泊り合はせた者もあつたらどうぞ一緒に置いて貰ひたい」七「恐れ入ります、御疲れでございませう、先づ御休息下さるやう只今直きに風呂や御飯の支度も出来ますと主人は叮嚀に挨拶して引下がる、暫らく経つて手代が膳を運んで参つて 手「どうぞ御遠慮なく召上つて下さいまし」スルト太郎が山の中から出て近頃始めて風呂の沸えたので今夜も湯に入りたくて堪らない 太「御手代、御前の御馳走も結構だが、成らう事なら風呂へ先へ入れて貰ひたい」と兵助聞いて 兵「コレ〳〵太郎失礼何か乞食などといふ者は、一向手前な、此方から然んな事をいふ奴があるか、富家の都合で御飯を先に下さるのだから、黙つて戴きなさい」太「アヽ然うでございますか、私は又御仇討の道路だから、馬鹿にされて、先へ湯に入れて呉れないのかと思つた」兵「下らん事をいふな、御手代どうか御留に縄られんやう、此の男は少し愚かの者だから」手「何う仕りまして、御湯をお召しになつても宜しうございますが、只今上遍路が入らうございますが、只今上遍路が入つて居りますから、誠に風呂が汚う致しますから、宜しければ案内しませう」太「ハア上遍路といふ者は、何か乞食かといふ者は」手「左様でございます」種々病を持つた者共でございます、尤も貴客方の御入りになる風呂は同じ處に別に立てゝございますが汚い者の入つてるのを見ながら御風呂を召すは御心持ちが悪からうと存じて御遠慮申しました」兵助、大八、庄司も然う聞くと上遍路といふは何んな者か、見て置きたいとも思ひました 兵「コテハどうか先へ風呂を貰はう、太郎風呂場へ行くのだ」太「イヤ然んな無礼な事をいつては悪うございます、當家の都合で御飯を先に出すのでございますから……」兵「何だ真似をするな、サア〳〵来なさい」と手代に案内をさせて風呂場へ来て見ると、此處も中々広い大きな鉄風呂が八ツばかり列んで居つて其内四ツ上遍路に宛ててあります處が

京染 京染屋下仕候 京城本町三、電三〇六八 あらき屋

御夕の冷気追に秋の来るを覚ゆ 染物の好期は今!!スグお電話を 京城 井町 みのや京染店 電話東局一四二 三六八二

演藝案内

身の悶を抑へんもので、高野へ来れば大事に扱はれると思つて居るのに附け込み少しも遠慮の態度の無いのみか宜い気になつて彼方の風呂へ入り此方へ入り外の風呂までも汚して、しかもづう〳〵しい顔で威張りくさつて居ります。

大正館 桜井町 電話八七三 日本活動写真株式会社朝鮮代理店

●喜劇「フィガロの結婚」尺ン米国メトロ会社近の最傑作
名高「男の熱血」全六巻
欧州の名優ブツシユマン氏と米国西部の大活躍によつて…
目下上映中「カンボシヤの娘」
●當る九月廿四日より引続き大興行

彌次喜多 日活京都派 日本大喜劇 尾上松之助自作 東海道後篇 全六巻

前篇に於て「彌次と喜多八」の両人は浪華から東海道五十三次を逆戻りの旅…
毎月一日・十五日・日曜日・祭日 昼夜開館

喜樂館 本町一丁目 電話九七番 當る九月廿四日より新映画提供 日活直營
○英国女軍人 當供氣賀長尺
○米国クレートピクチユー特作品
○カ―ルトン氏提供
米国飛行中尉パートホール氏出演
大戦劇 **空中ローマンス** 全八巻
欧州の上空戦に参加すること實に三ケ年絶大なる偉勲を奏したる米国陸軍飛行中尉パートホール氏が出演せる「戦闘及熱愛」…

黄金館 電話二二六六 二三六七 國際活映會社特約
當る九月廿二日より新寫眞四大長尺に付き六時半より開館
米国パラルタ社作 深秘劇 **盃の中** 全五巻
ベツレイベクスケイル嬢主演 世界創つて以来人間は強と弱とを…
名劇 **阿倍の保名** 全四巻 澤村四郎五郎 市川延十郎一派

村越茂助 日活京都派新撮影 尾上松之助先生作並に監督撮影 全六巻
○日本一の粗忽武士
…
●毎月一日・十五日・日曜日・祭日 昼夜開館

全四十四巻の内第七篇八篇

名金 四巻上場 連續冒險劇 …

谷底 全四巻 …

詩 本町一丁目 電話七八五 …

石鹸製造 京城元町 生田組工場 電話八二六番

朝鮮郵船

元山出帆 取扱店 吉田運漕部

大阪行	十月五日	平安丸
下関行	十月五日	會寧丸
江原道行	九月廿九日	鏡城丸
敦賀行	十月五日	立神丸
浦潮行	九月三十日	立神丸
雄基行	十月十五日	會寧丸
清津行	九月廿七日	平安丸

釜山出帆 取扱店 大池回漕部

大阪行	十月十五日	清津丸
大阪行	九月廿八日	雄基丸
下関行	九月廿七日	越後丸
新義州行	九月廿八日	成鏡丸
北鮮行	十月三日	會寧丸
浦潮行	十月三日	清津丸
鬱陵島行	九月廿七日	金海丸
江原道行	九月廿八日	鏡城丸
濟州島行	九月廿七日	昌平丸
木浦行	九月廿八日	濟州丸

木浦出帆 取扱店 野田回漕部

大阪行	九月廿六日	雄基丸
釜山行	十月一日	海州丸
濟州島行	十月六日	公州丸
多島海行	十月一日	公州丸
仁川行	九月廿六日	全州丸
新義州行	十月八日	雄基丸

仁川出帆 取扱店 郵船回漕部

大阪行	十月四日	新義州丸
新義州行	十月十一日	雄基丸
木浦行	十月一日	全州丸
海州行	十月一日	休航
鎮南浦行	九月廿七日	盤德丸
青島行	九月廿八日	江原丸

朝鮮郵船株式會社 電話 二三二番 二二二番
釜山支店 電話一八四番
元山出張所 電話四六四番
京城取扱店 京城府佐藤町 元山海岸町 電話一〇二番
○當社八満鐵、日本郵船會社、大阪商船會社ト連帶運輸ノ便有之候

印入袢天 専門 京城南大門通二丁目(丁子屋前) 若宮染工場 京城魚市場隣 電話二八五七番

パツリス 各種製造 元賣販
地番四十四百目丁二町井櫻 宮治商店

新靴投賣品 總本店 倉持靴問屋

現物仲買人 京城貫鐵洞一三五 白井商會 白井友之助 電話長六三三

男女 **毛深き方へ** 害なき最新発見の毛生止薬を詳報す

流經新薬 **レスノリン** **月經** （常盤薬院）

京城明治町 **宇治屋茶舗** 電四百十二番

徳島足袋會社 電話 …

ヨシトクタビ ●阿波正藍染の元祖 ●外皮足袋の改良 ●ゴム底地下足袋の模範

電氣治療

神經痛、神經麻痺、齒痛、肩强、脚氣、婦人病、其他脳脊髄諸病に有効
京城櫻井町二丁目(池上病院前) **荒川電氣治療處**

洋傘 ボタン カフス 帯止 **鶴田ボタン店** 京城永樂町一丁目五九 電話 三四二七番 三八三八番

疊表 花莚 緞通 日岡式改良疊 重寶品各種 京城永樂町二ノ六〇 **佐藤商店**

請合 雨傘製造 提灯類新調張替 迅速叮寧 **極力大勉强** **立山傘提灯店** 京城明治町二丁目 魚市場トナリ

京城府明治町七十番地 清水堂 **清水卯吉** 電話二五四七番

內科 外科 皮膚科 エッキス光線科新設 入院隨意 KS式ヂアテルミー 京城旭町一丁目 **島崎病院** 電話二三六番

開業御披露

北京本場より一流の料理人を聘し材料精撰、調味佳絶、廉價を以て御注文に可應候
仁川府支那町二番地 支那西洋 **御料理 大豊園** 電話六二六 何ほ府內は何所にても電話次第御届可申候

京城府漢江通八番地 陸軍御用達 **姬野商店** 電話六一二番

陸軍御用達 公設市場販賣店 魚仲買 **藤川圓藏** 龍山 電話三六番

龍山元町三丁目 諸工事請負 **大阪屋** 奥川金助

新刊書籍特價提供

西伯利亞	野中春洋著	
東洋 西利亞 無錢探險 萬十里	松尾末藏著	
清教徒神風連	福本日南著	
現代歴史を造る人々	鵜崎鷺城著	
瀬石氏と私	高濱虚子著	
末日頌	富田碎花著	
ゾラ物語	森鷗外監修	
十日物語		
李太白詩集	井土靈山選	
赤穗義士銘々傳	留岡孤雲著	
落語 講談 色くらべ	文芸 さん馬 小せん等	
野球の見方	齋水秋雄著	
膽つ玉	頭山滿著	
おなかの逆立ち	奥師地見男著	
雄辯と文章	進藤高之著	
教へる人學ぶ人	川田心徹著	
英語は斯の如く獨習せよ	栗田淳一著	
一年中日日の手紙	高辻春水著	
ここに引けば字が出る 日用字海		
ここに引けば字が出る 日用字鑑		

右何れも送料代理部負擔
申込者には 大本教撲滅論 定價四拾錢 …
發賣元 京城太平通二丁目九五 **釜山日報京城代理部** 振替京城五三三六番

銀行一般の業務を取扱申候 …

★ 資本金壹千萬圓 頭取 安田善三郎 株式會社 **百三十銀行京城支店** 京城本町一丁目

京城永樂町二丁目二八 **土屋組洋服調進所**

洋服の純手間賃 品目 仕立

賃費洋服裁縫

京城府明治町二丁目 **東京旅館** 電話長二五九
仁川本町四丁目 **別府自動車部**

京城府 **江原代書所** 電話三一七二番

新十美人投票成効
各種 時計 貴金属 寶石類 製作販賣
京城本町二丁目 **富士屋**

小野田セメント會社製造 セメント石灰 特約販賣
京城府吉市町 **東亞商工株式會社** 電話長一九七 六四二 九一七

セーノー式 稻麥扱機
新案特許 七大特色を有せる斯界の覇王
大阪市北區 … 機械器具製造發賣元 **盛農社**

市田オフセット印刷株式會社
豫て新築中の理想的工場近々竣工移轉可仕候 …
大阪總本店 東京支店 上海支店 臺北出張所 京城出張所 大和町三丁目

船來萬年ペン入荷
萬年ペンを買はれる期は今です此の際御購入になれば四割六分五厘安い物を買はれるようになります
京城本町 **篠崎文具店** 電話一三〇三番 振替口座一五四番

カツプロール